

した。その鵝はきら／＼と光りかゞいて
まるで稲光のやうです。それを見た賊の
兵隊はみな目がクラ／＼と眩くらんで、手向
かひをすることが出来ません。そこで天
皇の方の軍は大勝利となりました。いま
兵隊さんのお附けになる金鵝勳章といふ
のは、このめでたい大勝利を祝つてお送
りになつたものです。

まだ大和の國には、あちらこちらに賊
のものが残つてゐましたが、長髓彦がと
う／＼降参したといふので、すつかりし
づかに治まりました。そこで天皇は、畝
傍山の東南のふもと、橿原といふところ
がわが日本の一番の眞中であるといふの
で、其處に御殿をお建てになり、色々の
お祭の御用意をなさいまして、初めて、
御即位の御式をなさいました。それが辛
酉かのとといふ年の一月一日でありました。そ
れが今の暦になほしますと、二月十一日
になります。それが紀元節です。橿原と
いふところには、今は立派なお宮が建つ
てゐます。皆さんは大きくなつたら、ぜ
ひお参りいたしませうね。

かぜを引かせぬ用心

冬の衛生

醫學博士 廣 瀬 興

子供に風を引かせぬ様にすること、即
ち、冬多い氣管枝カタル、肺炎等にかゝ
らぬ様にするには、何よりも一般の健康
上の躰げに必要なことです。それは急に冬
になつて始まることではありませんが併
し今からでも遅くはありませんから次の
様なことに注意して、萬病のもとである
風邪にかゝることを豫防して下さい。

(一)榮養、好き嫌いを云はせず何ん
も食へさせ殊に油濃いものを與へる事、
毎年風邪引き易い子、シモ焼けの出來易
い子には肝油を與へること。空腹で夕方
遅くまで戸外で遊ばせぬこと。間食も次
の食事の二時間前位に充分與へること。
(二)戸外の運動、冬室内ばかりで遊ば
せて置くと猶風引き易くなります。勉め
て戸外で遊ばせ日光に充分當てること。
(三)皮膚の鍛錬、入浴後や更衣の時に

柔い手拭でよく皮膚を摩擦してやる事。
薄着の習慣が必要ですが手首や足首の所
をく、れる様にして體に密着しないダブ
／＼の空氣の層が體の周りに充分ある様
な衣服が最も良いので、それなら薄着を
させて置けます。毎日清潔な躰衣に着更
へさせること。入浴はすき間風の入らぬ
様にして成るべく度々させ皮膚を清潔に
して置く方が却つて風引きません。

(四)暖房、木炭や練炭の火鉢、煙突の
ないストーブに長時間あつてゐると一
酸化炭素の慢性中毒のために風引き易く
なります。

(五)若し水鼻をたらしたり、咽がかれ
たり軽い咳をしたりしたら、頸部に熱い
湯の濕布、普通のコップに二匙の硼酸を
入れた位の温水の吸入をすること。少し
熱ばいときはアスピリンを飲ませて看る
こと。それ以上の容體の時はず醫前に診て
もらはねばなりません。